

平成4年4月25日

学校長 様
英語ディベート担当教員 様

一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟
(HPDU of Japan)

第11回 高校生英語パラメンタリーディベート連盟新緑杯 HPDU Spring Greenery Competition 2022 実施要項

新型コロナウイルス対策のため、自宅から参加できるオンラインで開催いたします。

主催 一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)
後援 公益財団法人 日本英語検定協会 (Eiken Foundation of Japan)
一般社団法人 日本英語交流連盟 (ESUJ: The English-Speaking Union of Japan)
協力 有限責任 あずさ監査法人 (KPMG AZSA LLC)
iae グローバルジャパン株式会社 (iae GLOBAL JAPAN, Inc)
エイムネクスト株式会社 (AIMNEXT Inc)
株式会社EduLab (EduLab, Inc.)
株式会社オールアバウト (All About, Inc.)
株式会社トモノカイ (Tomonokai Co., Ltd.)

- 1 主 旨 (1) パラメンタリーディベートを通して高校生の総合的英語運用能力を伸ばす。
(2) 経験者が新人ディベーターを育成する機会の提供とする。
(3) 様々な社会問題に興味関心を持つ態度を養う。
(4) 高校教員のジャッジ養成。
- 2 日 時 2022年6月12日(日) 8:30~17:30
- 3 場 所 Zoom を使用して実施するため各自 Wi-Fi 環境が整っている場所をご用意してください。また、大会当日の連絡などには LINE を使用します。参加選手および顧問の先生は予め Zoom のインストールと LINE のアカウントを取得してください。
- 4 試合形式 (1) 試合：ノースアメリカンスタイル (7分、7分、7分、7分、4分、4分)
1チーム3名、準備時間は20分。
※詳細は、15 ジャッジのガイドライン：Adjudication Guideline for Spring Greenery Competition 2021 をご覧ください。
(2) 4試合 (2試合目以降はパワーペアリング)
※パワーペアリングを優先するため、肯定側と否定側のバランスが取れない場合があります。
(3) 得点ポイントの高かったチーム、経験者ディベーター、新人ディベーターを表彰。
- 5 参加資格 (1) 日本に住所がある高校に在学している1学年から3学生までの生徒(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含まれます)。
(2) 第3回新芽杯に参加していない学校の生徒。学校として新緑杯、新芽杯いずれか1つの大会に参加して頂くことになります。
(3) 1チームにつき1名のジャッジの派遣をよろしく願います。

6 チーム構成の条件

- (1) チームの登録人数は3人。チーム内には必ず新人ディベーターが1人は含まれていること。新人ディベーターとは、パラメンタリーディベート公式戦での試合経験がないか、おおよそ10ヵ月未満の生徒を指します。
- (2) 同一校のチームの参加とします。ただし、英会話スクールなど HPDU が認めた高等学校以外の団体は例外とします。

7 申 込

以下の URL の新緑杯参加登録フォームにアクセスして、参加申込みをお願いします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeX7pYy93uLOj15ne9zB7h9PKSfE2Us_pTP0umjwWEFnQSNyTw/viewform?usp=sf_link

上記のアドレスを貼り付けて、フォームを開いてください。

参加申込締切 令和4年5月27日（金）15時まで



- ※ 新芽杯に参加する学校はお申し込みできませんので、ご注意ください。
- ※ 1チームの Debater は3人です。
- ※ 各学校から参加申込チーム数は最大で3チームまで。ただしチーム数が予定数を超えた場合、3チームを希望している学校から、過去の HPDU が主催した大会参加状況や成績を考慮しチーム数の調整をする場合があるので、ご了承ください。1つのフォームで3チームまで申し込めます。
- ※ 1チームにつき1名のジャッジを派遣してください。

- 8 参加費 1チームにつき 3,000 円となります。参加チーム数が確定してから当該校にお振込みのお願いをさせていただきます。

- 9 問合せ先 さいたま市立浦和高等学校 教諭 浜野 清澄
e-mail: hamanokiyozumi@gmail.com

10 日 程 (オンライン開催のため、予定が変更される可能性があります)

8 : 3 0 ~	8 : 4 5	受付
8 : 4 5 ~	9 : 1 5	開会式
9 : 1 5 ~	9 : 2 5	第1試合 対戦表、論題発表
9 : 2 5 ~	1 0 : 4 5	準備 (20 分間)、試合
1 1 : 1 0 ~	1 1 : 2 0	第2試合 対戦表、論題発表
1 1 : 2 0 ~	1 2 : 4 0	準備 (20 分間)、試合
1 2 : 4 0 ~	1 3 : 1 5	昼食
1 3 : 1 5 ~	1 3 : 2 5	第3試合 対戦表、論題発表
1 3 : 2 5 ~	1 4 : 4 5	準備 (20 分間)、試合
1 5 : 1 0 ~	1 5 : 2 0	第4試合 対戦表、論題発表
1 5 : 2 0 ~	1 6 : 4 0	準備 (20 分間)、試合
1 7 : 0 0 ~		表彰・閉会式

11 各スピーチの採点方法

本年度の大会では、個人得点は、以下の基準に基づいて与えられます。派遣ジャッジの方は大会前に把握しておいてください。：

「その試合全体の質、また最終的な勝敗を決めるにあたって、貢献度の高かった順に1位～6位を割り振る」

【順位を決めるにあたって補足事項】

- (1) 同じ順位を複数名に与えることは不可とします。
- (2) 各試合でのスピーカーの順位を、得点に変換して個人得点とします。
[1位 ⇒ 6点 2位 ⇒ 5点 3位 ⇒ 4点 4位 ⇒ 3点 5位 ⇒ 2点 6位 ⇒ 1点]
- (3) 通常の試合では、個人得点のチーム総点は、勝利チームの方を必ず高くします(つまり「low-winを認めない」ということです)。今回は貢献の度合いによる順位になりますので、このlow-winに関する決まりは適用されません。結果として、以下のような順位もあり得ます：
<順位の例> Gov(勝ちチーム) [1人目] 2位 [2人目] 3位 [3人目] 4位 1 2点
Opp(負けチーム) [1人目] 1位 [2人目] 5位 [3人目] 6位 9点
- (4) 順位を決めるにあたって、複数名の選手の優劣を決め難い場合、この要項末に例年の新緑杯の個人スコアのつけ方を掲載してありますので、参考にしてください。

12 表彰に関して

- (1) チーム成績は、まず試合の勝ち数で順位を出し、同じ勝ち数のチーム同士の、個人得点の合計を比べて出します。
- (2) 個人成績は、個人得点の累計で出します。
- (3) 賞状はデータの形で送ります (印刷は各学校でお願いいたします)。
- (4) 表彰などで順位を確定させる必要がある場合、勝ち数が同じ、そして個人得点の総点が同じチームがあった際は、以下の様にして最終的な順位を決定します。：
 - ・予選4試合のそれぞれが対戦したチームの勝ち数の合計
 - ・上記の合計が同じ場合は、それぞれが対戦したチームの個人得点の合計

13 注意事項

- (1) ディベーターは試合中に時間を計る際はストップウォッチかタイマーを使用してください。
- (2) ディベーターは準備時間内にチーム内の者以外と相談することはできません。
- (3) ディベーターは準備時間内そして試合中に、電子辞書を除いた電子機器(例 インターネット接続機能を持ったタブレット・コンピューター等)を資料の検索を目的に使用することはできません。
- (4) ディベーターは準備時間内そして試合中に、書籍など、辞書以外の紙媒体の資料を閲覧することはできませんが、自作の資料ノートやコピーをファイルしたもの、フォーマットが書かれたプリントの使用は許されています。
- (5) Point of Order (試合中に対戦相手のルール違反を指摘する行為) は禁止します。ルール違反があった場合、ジャッジが判断をするものとします。試合進行上支障をきたすルール違反があった場合、ジャッジが適切な処置をします。
- (6) Constructive Speech に対して Point of Information (POI) を行う場合「Point」「Point of Information」といった表現で POI による発言の許可をスピーカーに求めてください。7分間の最初と最後の1分間は POI 不可。POI により発言を許可された者は、15 秒間だけ発言を許されます。Reply Speech に対しては POI 不可。
- (7) 相手チームの顧問の承諾なしに、試合を録音、撮影、録画することは禁止です。
- (8) HPDUの記録担当が撮影したものに関しては、後日、HPDUのホームページ、後援・共催・協力団体への報告書、HPDUについての説明会や講演等で使用することがあります。ご了承ください。
- (9) 急な発熱などにより選手を変更せざるをえない場合は、大会前日の19時までに連絡してください。代替りの選手が見つからず、2名以下での参加となってしまった場合は、個人賞の対象にはなりません、チーム賞の対象にはなりません。

14 オンライン利用の大会実施に関する注意事項

- (1) スマートフォンを各自一台用意してください。また、Zoom と LINE を使用しますので、参加選手と顧問はアカウントを取得してください。
- (2) 今大会はオンラインで行うため、通常の運営と異なることが多々あります。たとえばスケジュールや進行にスムーズに行かない可能性があることもご了承ください。
- (3) オンラインによる大会なのでネット回線がある環境が用意できることが参加条件になります。各参加者は必ず適切な環境で試合ができるように事前に準備をしてください。
- (4) 自宅で参加できるということにより気が緩むことがあるかもしれませんが、「10 注意事項」を守り、不正は絶対に行わないようお願い致します。万が一、不正が発覚した場合は、その選手が所属している学校は HPDU が開催する大会に一年間参加できなくなります。
- (5) 準備時間中にチーム内でメッセージ等をすることは可能ですが、対面での試合と同様に、スピーチ中のチームメイトにチャット等を通してアドバイスをしたり文面を送ったりすることは禁止です。万が一、不正が発覚した場合は、その試合は失格となります。
- (6) ラウンド中は、スピーチと Point of Information を行う時以外は、ミュートにしてください。
- (7) 試合中の Zoom での回線トラブルに関するルールは、以下になります。
 - (a) 各試合において、各チームは、合計 10 分間以上、回線トラブルのために試合を中断させた場合、失格となる。
 - (b) 回線が落ちたスピーカーが 5 分経って戻って来ない場合は他の人が代わりにスピーチを行うこと。そのスピーチについての個人スコアは無効となる。
 - (c) Zoom での回線が落ちた場合に各人が行うべきこと：
 - 自分の回線が落ちた場合：まずストップウォッチを止め、事前に配布するトラブル・シューティングに従い、復旧に努める。
 - スピーチ中のチームメイトの回線が落ちた場合：その選手が 5 分経っても戻ってこなかった場合は、代替りのスピーカーがスピーチの続きを行う。
 - 相手チームのスピーチ中に、それに反論する次のスピーカーの回線が落ちて 5 分経っても戻ってこない場合：その選手のスピーチは、代替りの選手が行う。
 - ジャッジの回線が落ちた場合：スピーチ中であれば、①ストップウォッチを止める。→② ジャッジ が戻ってくるまで待つ→③ストップウォッチの時間を確認して再開してもらう。
- (8) オンラインでの試合を安定して実施するために、外部からの試合観戦については原則遠慮して頂いております。試合会場に入れるのは、試合をする選手、ジャッジ、試合をする学校の方 1 名（顧問やコーチなど）、本大会の運営(HPDU 関係者)のみです。

Adjudication Guideline for Spring Greenery Competition 2022

Rules of the Competition

This competition is held under the North American style of debating, with minor modifications as explained below.

[The format of the debate]

The debate will consist of two teams of three persons, and an adjudicator. Constructive speakers will deliver a speech of 5 to 7 minutes duration and reply speakers should deliver a speech of four minutes duration.

[Preparation]

The debate should commence 20 minutes after the motion is announced. Debaters are allowed to use printed or written material during preparation and during the debate. Printed material includes books, journals, newspapers and other similar materials. The use of electronic equipment, except for electronic dictionaries (Denshi Jisho), is prohibited during preparation and in the debate.

[Points of information]

Points of information (questions directed to the debater speaking) may be asked between first minute mark and six-minute mark of the constructive speeches (constructive speeches are of five to seven minutes duration). No points of information are allowed during the reply speeches.

1. The Tasks of Adjudicators

The primary task of adjudicators is to determine as objectively as possible which team better succeeded the process of persuasion by delivering the argumentation.

At the conclusion of the debate, adjudicators should fill in the evaluation form. Then, adjudicators are to provide debaters their decision as well as the reasons for it verbally. Also, the adjudicator should provide advice on further improvements for each debater.

2. Evaluation Categories

Adjudicators should evaluate each speech based on four categories: Matter, Manner, Speaker Roles, and the use of Point of Information (POI). Adjudications will rank debaters from first place to last place. The rankings should be given based on the debaters' contribution in winning the round and to the overall quality of the debate.

Because debaters will be given rankings instead of individual speaker scores, there is no regulation on low score win and tie in the competition.

2.1. Matter

Matter means the contents of the speech. It is the arguments the speaker uses to persuade the audience. In other words, Matter is the assessment on what each speaker delivers in his or her speech.

Adjudicators must consider the following elements in assessing Matter of the speech:

- (a) Reasoning
 - Did the speaker develop arguments with careful explanation?
 - Did the speaker avoid assertions, logical flaw?

- (b) Elaboration
 - Did the speaker show his or her deep understanding of the topic by providing relevant information?
- (c) Response
 - Did the speaker appropriately respond to the arguments and refutation made by the other team?

It should be noted that the response for Prime Minister is evaluated based on his or her willingness to offer and take POI.

2.2. Manner

Manner means the way debaters present their speeches, focusing on speech structures and styles. In other words, Manner is the assessment on how each speaker delivers his or her speech.

Adjudicators must consider the following elements in assessing Manner of the speech:

- (a) Time Management
 - Did they avoid speaking over the time limit or ending the speech long before the time limit?
- (b) Structure
 - Did the speaker clearly order his or her speech so that the audience could follow it easily?
- (c) Speech Delivery
 - It should be noted that there is no evaluation for the speakers' proficiency in English pronunciation. If the speech is less intelligible due to an issue with pronunciation, it is assumed that the speakers' matter is compromised accordingly.

2.3. Role fulfillment

Speakers are expected to fulfill the duties assigned to the speaker roles (e.g. Prime Minister) as follows.

- (a) Prime Minister
 - Was the definition explained clearly?
 - Was a team line explained clearly?
 - Was the team allocation provided clearly?
- (b) Leader of the Opposition
 - Did the speaker clearly respond to the definition provided by the Prime Minister?
 - Did the speaker give a team line?
 - Was the team allocation provided clearly?
- (c) Members
 - Did the speaker confirm the team line provided by his or her partner?
 - Did the speaker sufficiently explain the new argument(s) allocated by his or her partner?
 - Did the speaker provide further support (i.e. new elaboration or additional reasoning) to the argument provided by his or her partner?
- (d) Reply Speakers
 - Did the speaker summarize the round focusing on key issues, questions, or crash points?
 - (In case of Prime Minister Reply) Did the speaker respond to the new argument given by the Member of the Opposition?

* Note that the role fulfillment of reply speakers is evaluated in the category "Key Issues".

2.4. Use of P.O.I.

- Did the speaker actively participate in the debate by raising P.O.I. to weaken the other team's arguments, or strengthen that of his or her own ?
- Did the speaker immediately and confidently handle the P.O.I. offered by the other team?

3. How to Decide the Winning Team

It should be noted that only what the debaters have said, or Matter should influence the result.

In this competition, it is recommended that adjudicators follow the following procedures to reach their decisions.

(a) [Argument] Which team presented the most persuasive argument?

If one team provided far superior arguments to the other, the team should win the round.

(b) [Refutation and Reconstruction] Which team's responses were superior?

If the quality of overall arguments is found equal, then the adjudicator should look into the refutation and reconstruction attempted in the round. If adjudicators find any impressive responses that influenced the flow of the round, the team which provided them should win the round.

(c) [Elaboration] Which team provided the best elaboration?

If the quality of the overall arguments and their responses to the other team are found equal, then the adjudicator should look into the elements of the arguments. If adjudicators find any impressive example or other elaboration that significantly contributed to the quality of the round, the team which presented it should win the round.

(d) [Manner & POI] Which teams' speech manner was superior?

When and only when the adjudicator cannot decide the winning team based on the quality of overall argument, responses, and elaboration, he or she can look into the elements of Manner. However, to reach a decision based on manner is assumed to be an emergency measure only allowed to avoid the deadlock that would seriously hamper the management of the competition.

4. Speaker Scale

Debaters in a round should be ranked from first place to last place. First place speakers should be awarded six points, second place speakers should be awarded five points, third placed speakers should be awarded four points, fourth speakers three points, fifth speakers two points, and the sixth speakers one point.

The rankings should be given based on the debaters' contribution in winning the round and to the overall quality of the debate.

◆ 【参考】例年の新緑杯 個人スコアの付け方 (対面方式の大会で使用)

以下は例年の新緑杯での個人得点の付け方の細則です。試合で同じ順位になってしまった選手がいた場合、以下の基準を参考にして順位の上下を決めてください

(注: 以下の採点基準は、英会話の授業でのスピーキングテストの採点基準を模して作られました。初心者を出るだけ客観的に採点するために、あえて機械的にスコアを出せるようになっています。他の英語ディベートの大会では、このような細かい採点の指示はありません。まずは Matter 以外の項目がほぼ満点になるように練習をさせてください)

・各チームの合計点を出して、その合計が高かった方を勝ちにする、という勝敗の決め方は認められません。また勝敗自体は、それぞれ以下に説明がある、話し方(manner)ではなく話した内容(matter)で決めてください。

【Constructive Speech に関して】

I. 話し方に関して (Manner) ※勝敗の決定は Manner よりも Matter を優先させる。

1) スピーチ時間 (Time Management) [1 or 0 point]

- ・スピーチ時間は、Constructive Speech は 5~7 分です。
- ・スピーチ時間の過不足が、30 秒以内であれば 1 点、それを超えた場合は 0 点となります。

2) 議論の構成 (Structure) [1 or 0 point]

- ・以下の 3 点がスピーチを通じて満たされている場合 1 点、いずれかに問題があった場合 0 点となります：
 - a) 分かりやすいサインポストを明確に示した。
 - b) 議論の構成がわかりやすい (例えば、現状分析、問題解決の仕組み、重要性など小項目に分けて説明していた場合など)。
 - c) 相手チームへの応対 (反論そして議論の立て直し) において、相手のどの発言に対して応答しているのか明確であった。

3) スピーチの仕方 (Delivery) [3 ~ 0 point(s)]

- ・以下の 4 点がスピーチを通じて満たされている場 3 点となります。1 箇所の項目に問題がある場合、1 点ずつ減点します。3 箇所以上に問題がある場合、0 点となります。：
 - a) 効果的なアイコンタクトの使用 ※オンラインの場合はカメラ目線。
 - b) 聞きやすさ(十分な声の大きさ、速さ、強弱)
 - c) 効果的なジェスチャーの使用
 - d) 表情による効果的な表現

II. スピーチ内容に関して (Matter) ※勝敗の決定は Manner よりも Matter を優先させる。

1) 論証の内容 (Reasoning) [2 ~ 0 point(s)]

- ・納得のいく論証がスピーチを通じて述べられていた場合、2 点
- ・理解はできるが疑問の余地のある論証が述べられた場合、1 点
- ・明確に論証に問題がある場合、または論証が欠落している場合、0 点

2) 議論の具体化 (Elaboration) [2 ~ 0 point(s)]

- ・2 つ以上、議論を効果的に根拠づける良い具体例や具体的な描写を示した場合、2 点。
- ・1 つ示された場合、1 点。
- ・1 つも示されなかった場合、0 点。

3) 相手のスピーチへの応答 (Response) [2 ~ 0 point(s)]

- ・相手からの反論にすべて、効果的な議論の立て直し(Reconstruction)を行い、また相手チームの議論に対して効果的に反論を行った場合、2 点。

- ・相手のチームへの応答は行ったが、反論または議論の立て直しのいずれかにおいて、1つの内容が不十分であった場合、1点
- ・反論または立て直しのいずれかをまったく行わなかったか、2つ以上反論または議論の立て直しが不十分であった場合、0点。
- ・PMは、積極的にPOIを行ったかでの項目を判断します(POIを取って貰えたか、POIの中身自体が良い物であったかについては考慮しません)

Ⅲ. スピーカーの役割 (Speaker's Role)

それぞれのスピーカーに特有の3つの役割に関して、それぞれ果たされていた場合1点ずつ加点します。

1) Prime Minister

- ・論題の定義が明確に示されていたか。
- ・チームライン（チームとしての主張を簡潔にまとめた1文、必ずしもチームラインという用語を使わなくても良い）を明確に示したか。
- ・サインポストを提示して議論の役割分担（team allocation）が明確に示されたか。

2) Leader of the Opposition

- ・Prime Ministerから提示された定義に明確に回答していたか（定義を受け入れるが反対の立場をとる、といった事を明確に述べたか）。
- ・チームラインを明確に示したか。
- ・サインポストを提示して議論の役割分担（team allocation）が明確に示されたか。

3) Member of the Government & Member of the Opposition

- ・パートナーの提示したteam lineを確認したか（繰り返し述べるだけで十分）。
- ・パートナーの提示した議論に対して、追加の説明（新しい具体例、追加の論証の説明）を行ったか。
- ・分担された議論を十分に説明したか。

【Reply Speech に関して】

1) スピーチ時間 (Time Management) [1 or 0 point]

- ・スピーチ時間は、Reply Speechは3~4分です。
- ・スピーチ時間の過不足が、30秒以内であれば1点、それを超えた場合は0点となります。

2) スピーチの構成 [0 or 1 point]

- ・これから何を説明するか冒頭で説明した場合、1点。その説明がない場合や、分かりにくい場合は0点。

3) スピーチの仕方 (Delivery) [3 ~ 0 point(s)]

- ・立論スピーチでの評価基準と同じです。

4) 試合の争点 (Key Issues) [2 ~ 0 point(s)]

- ・試合全体を、Key issues, Clash points, Key Questionsといった新しい観点で効果的に総括した場合、2点。
- ・試合全体を新しい観点で総括したが、観点の選択が効果的ではないか、いずれか1つの観点による説明が不十分であった場合、1点
- ・新しい観点に立った総括をしなかった場合、観点における説明が2つ以上不十分であった場合、0点。

5) 具体化 (Elaboration) [1 or 0 point]

- ・議論を効果的に根拠づける良い具体例や具体的な描写を示した場合、1点。
- ・1つも示されなかった場合、0点。

4) Point of Information に関して

a) POI を求めることに関して

- ・各スピーカーは、相手チームのそれぞれのスピーチにおいて、2 回以上 POI に立つことが求められます。

b) POI を取ることに関して

各スピーカーは、自分のスピーチにおいて、POI を 2 回程度取ることが期待されます。

* 「POI を何回していなければ減点」というような基準は設けません。